

第5回 FIT大学院インフォメーション・セッション

「ファッションビジネスで、グローバルに活躍する」

Global Fashion Management コースで学べること

日本FIT会はファッション産業のグローバル人材育成のため、米国FIT(ニューヨーク州立ファッション工科大学)のユニークな大学院コースを紹介するセミナーを、同校の教授を招き開催しており、今回はその第5回目となります。これはファーストリテイリング社と公益財団法人 米日カウンシル-ジャパンのご協力をいただいて実現しており、これまで当セッションの参加者より7名の留学生を輩出しています。

世界がグローバル化するなかで、ファッション産業においても、世界的に活躍できる人材が不可欠になっています。しかし、グローバル人材を理論や知識ではなく「実学」で育成するプログラムは世界でもほとんど無く、FITのGlobal Fashion Management*が、抜きん出た存在になっています。この修士コース(学位はMPS=Master for Professional Studies)は非常にユニークかつ実践的で、ニューヨーク、パリ、香港、東京を研修の場とする立体的なプログラムであり、世界各国から多様な人材が学んでいます。*当コースのサイトは、<http://www.fitnyc.edu/gfm/index.php> です。

このコースには、ファーストリテイリング社(ユニクロ)の留学奨学金が、公益財団法人 米日カウンシル-ジャパンのTOMODACHI-UNIQLO フェロシッププロジェクトとして設置されており、この奨学金は、来年度も継続されるものと期待されています。

セミナーの対象者は、グローバル・キャリアをめざして留学を希望する人、企業あるいは教育機関で人材育成や学生の留学指導に当たって居られる方々です。この貴重な機会を是非ご活用くださるよう、ご案内申し上げます。

日時

2017年11月20日(月曜日) 18:30~20:40(18:00 開場、18:45以後は入場できません。)

会場

ファーストリテイリング社(ユニクロ) 会議室(東京ミッドタウン内)

東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

33階の受付においでください。会場は内部階段を使用して、34階となります。

プログラム

1. FIT教授によるFIT Global Fashion Management コースのご紹介

2. 日本人卒業生によるFIT留学体験談

3. Q&A セッション

なお、セミナー翌日(21日)、希望者はFIT教授との面談が可能。

※一部通訳有り

講師

Dr. メアリー・デビス / FIT大学院ディーン

Prof. パメラ・エルスワース / FIT大学院教授・GFMコース学科長

前田 舞子 / FIT BFAコース卒業生 平木 裕子 / FIT GFMコース卒業生

尾原 蓉子 / 日本FIT会 会長

参加費

無料

申込方法

下記のフォームにアクセスいただき、お申し込みください。

<https://goo.gl/Jw9rR6>

スマホの方は
QRコードをご利用ください。



締切: 11/15(水)

なお、奨学金に関する情報は公益財団法人 米日カウンシル-ジャパン「TOMODACHI-UNIQLO フェロシップ」のウェブサイト
(URL: <http://usjapantomodachi.org/ja/programs-activities/tomodachi-uniqlo-fellowship/>)に掲載される予定です。

主催: FIT(Fashion Institute of Technology) 及び 日本FIT会 (info@fitkai.jp)

後援: JFWO(一般社団法人 日本ファッション・ウィーク推進機構)

FIT大学院ディーン **メアリー・デイビス (Mary E. Davis) 氏**

ニューイングランド音楽院にて音楽学の修士課程を終え、ハーバード大学で音楽学の博士号を取得。ファッション工科大学 (FIT) 大学院長に就任する前は、1998年から2012年まで、ケース・ウエスタン・リザーブ大学の音楽学部の教員を務め、2009年以降の4年間は同学部の学科長を務める。在任中は、ロックンロール・ホール・オブ・フェイム博物館(ロックの殿堂)の大学側リエゾンとして、また、学内のベイカーノード・センター(人文科学研究科)のアソシエイトディレクターとして尽力した。著書には、Classic Chic: Music, Fashion, and Modernism (2006)、エリック・サティの半生を綴った伝記 Erik Satie (2008)、Waiting for A Train: Jimmie Rodgers's America (2009)、Ballets Russes Style: Diaghilev's Dancers and Paris Fashion (2010) がある。



FIT大学院教授・GFMコース学科長 **パメラ・エルスワース (Pamela Ellsworth) 氏**

ボストンにあるスクール・オブ・ファッション・デザインを卒業後、FITにてテキスタイル・マネジメントを学び、コーネル大学のアパレル&テキスタイル・マネジメント学科を卒業。さらに、FIT大学院のグローバル・ファッション・マネジメント学科の修士号を取得。現在はFIT大学院グローバル・ファッション・マネジメントの学科長を務め、教授として教鞭も執っている。2007年に学科長に選任される以前は、テキスタイル大手企業として知られるバーリントン・インダストリーズにおいて輸出事業の商品開発マネジャーとして勤めながら、同時にアジアとアフリカ地域におけるマーケティングと生産プロジェクトのコンサルティングも行っていた。また、演劇、オペラ、ダンスなどの舞台衣装係として自身のキャリアをスタートさせたという経歴を持ち、現在、コーネル大学の学長諮問委員会コーネルウーマンの招待メンバーでもある。



旭化成株式会社 繊維事業本部 コーディネーター
BFAコース 卒業生

前田 舞子 氏

高校2年時、L.A.で単身、1年間の留学を経験。高校卒業後、FITにてFashion Design (BFA) を専攻し、3年目に伊Polimodalに留学。FIT卒業後、NYのインナー・メーカーで5年勤務した後、仏パリLa Chambre Syndicale de la Couture Parisienneへ留学。メゾン数社で研修の後、11年に帰国。同年より旭化成(株)繊維事業本部マーケティング室コーディネーター。



GFMコース 卒業生

平木 裕子 氏

国際基督教大学教養学部を卒業後、(株)アミナコレクション商品本部仕入部に勤務。'07年より主任として世界の民芸をベースにした商品の開発、生産、輸入等に幅広く関わり、多くの商品カテゴリ、国や地域を担当。'15年8月よりTomodachi-Uniqlo奨学生としてFITのGFMコースで学び、'16年12月に卒業。



日本FIT会 会長 **尾原 蓉子 氏**

日本に初めて「ファッション・ビジネス」の言葉と概念を、1968年に訳書『ファッション・ビジネスの世界』により紹介。以来、ファッション産業発展への貢献と人材育成がライフワークに。旭化成出身。財団法人ファッション産業育成機構IFIビジネススクール設立にも貢献。学長を10年務めた。東京大学卒。FITおよびハーバード・ビジネススクールAMP卒。FIT「生涯功労大賞」、「毎日ファッション大賞・鯨岡阿美子賞」、また「ハーバード・ビジネススクール・ビジネスマン/ウーマン・オブザイヤー」を日産自動車社長カルロス・ゴーン氏とともに受賞。一般社団法人WEF代表理事。昨秋出版の『Fashion Business 創造する未来』(織研新聞社)は、ファッション産業の未来を見通す書として反響を呼んでいる。



Fashion Institute of Technology (FIT)



<http://www.fitnyc.edu/>

ファッション業界のプロフェッショナル人材育成教育機関として1944年創立。その後ニューヨーク州立大学になる。現在は、ファッションおよび関連分野における、デザイン、テクノロジー、ビジネスの多様なプロフェッショナルを養成する総合大学。コースとしては、2年制・1年制準学士(AAS)コース、4年制学士(BFA/BS)コース、修士(MA/Professional Studies/Fine Arts)コースがあり、アパレル、小売、テキスタイル、インテリア、コスメティックス、広告、美術、玩具などの専門分野をカバーする45以上のプログラムを提供している。マンハッタンを中心に立地、「マンハッタン全体がキャンパス」を合言葉に、ビジネスの現場に密着した「実学」の教育に力を入れている。全日制学生数1万人以上、夜間や短期集中講座を含む2万人以上が学ぶ。日本人をはじめ海外からの留学生も多い。